

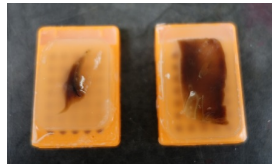
国立感染症研究所感染病理部における PMLの病理組織検体の解析

研究分担者: 国立感染症研究所感染病理部 鈴木忠樹

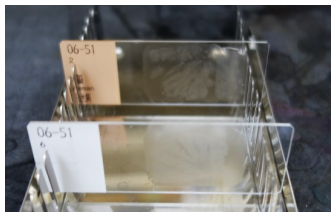
研究協力者: 国立感染症研究所感染病理部 高橋健太

ホルマリン固定パラフィン包埋 (FFPE) 検体

凍結検体



FFPEブロック



未染標本



パラフィン切片

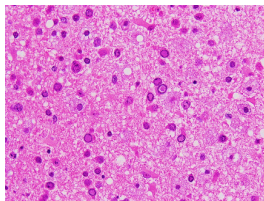


病原体輸送容器



形態学的解析

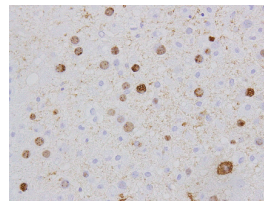
遺伝子解析



HE染色



特殊染色



免疫組織化学
(ウイルスタンパク質)

凍結 / FFPE検体

↓
DNA抽出

↓
定量的PCR
(ウイルスゲノム)

解説

1. 国立感染症研究所感染病理部では、生検あるいは剖検脳組織を用いて、免疫組織化学を含む形態解析と、組織から抽出したDNAのJCVゲノム検索による遺伝子解析を併用し、診断の精度を高めている。
2. これまでに69例のPMLの検索依頼を受け45例の診断を確定しており、平成27年は11例の解析を行って、9例の診断を確定した。
3. 脳脊髄液検索ではJCVが検出されなかったが、脳組織からの病理学的解析にてはじめて診断確定された症例も認められた。